令和６年４月

あったかハート推進週間の取組（４月）

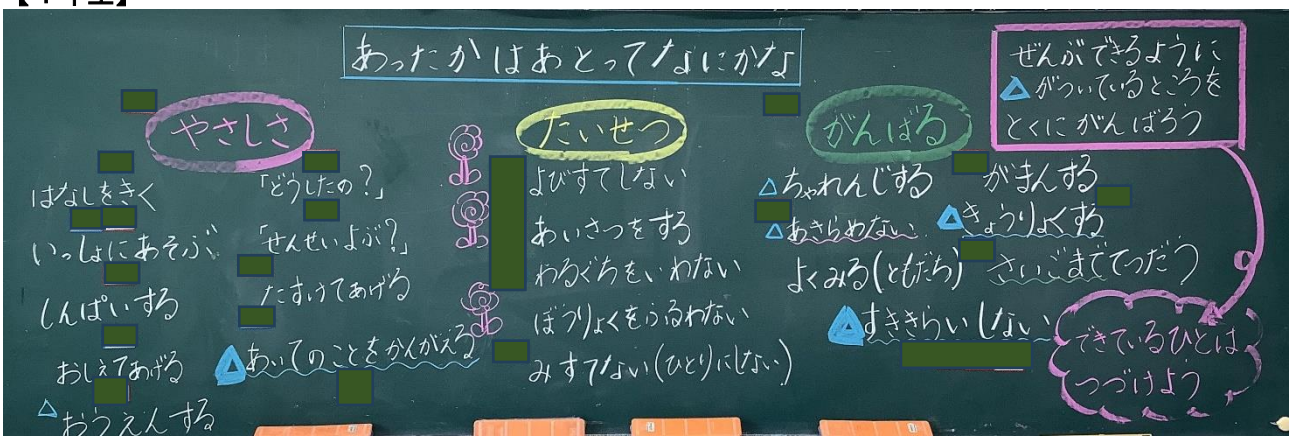
今年度も、附属小学校では子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。その一つとして、月に１回「あったかハート推進週間」を設置し、相手を思いやる心や寛容な心を育てようと、全校一斉の道徳科授業や人権を意識した児童会活動等を展開します。

４月は、以下の内容で学級会を行いました。

月	期　　間	内　　容
４月	4/15（月）～19（金）	学級活動①「みんなあったかハートの学級」になるための話合い

１　実際の授業

【１年生】



１年生では、「あったかハートって何かな」をテーマに学級で話し合いました。子供たちは、あったかハートについて、「友達を気遣う優しさ」「安全に過ごすためのルールを守る心」「がんばりぬく心」などではないかと考えました。

【６年生】

６年生では、学級代表が話合いを進めました。あったかハートな学級をつくっていくためには、どのようなことが必要か、昨年度の自分たちを振り返り、学級として目指す方向性を探っていきました。「授業態度」「休み時間の過ごし方」について課題を感じた子供たちは、１か月ごとの短期目標を決め、振り返りを積み重ねていくことで、態度や過ごし方について改善していくことを共通理解しました。

２　各学年で行った授業の感想

- あったかハートになるために、友達を大事にしたいです。（１年生）
- 自分がよいと思う行動をすればよいと思いました。行動してみたら、そのよさが分かるからです。（２年生）
- みんなの考えを聞いて、困っている人に優しく声をかけたいと思いました。困っていた人が気持ちよく過ごせるからです。（３年生）
- 学級目標の「カラフル」という言葉の意味は、みんなの個性を大事にしようという意味です。これをふまえて、みんなの気持ちを考え、あったかハートを大事にしていこうと思いました。（４年生）
- 学級目標の「心を一つに」を大切にしていきたいです。５年生はもともと男女の仲がよいので、それを続けていきたいです。（５年生）
- 優しい言葉をかけ合いたいです。また、相手意識をもって話を最後まで聞いたり、きちんと反応したりしていきたいです。（６年生）

今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。